

ハイサイ!

—沖縄こどもの国だより—

季刊誌
ハイサイ! —沖縄こどもの国だより— 創刊号 2022.vol.1
Haisai-Okinawa Zoo & Museum News- 2022.vol.1 NO.1

[発行日] 2022年8月15日
[発行] 公益財団法人沖縄こどもの国 (沖縄県沖縄市胡屋5-7-1)
[編集] 金尾 由恵
[デザイン] 陳 佑而

編集後記

沖縄こどもの国の情報誌が初めて創刊されました!これをきっかけに沖縄こどもの国の魅力や沖縄の自然・文化についてもっと発信していけたらと思います。次号もお楽しみに!(編集:金尾由恵)
いきものの美しさを感じていただければ幸いです。(デザイン:陳佑而)

ご利用案内

営業時間	開園時間	最終入園時間	閉園時間
夏時間(4~9月)	9:30 ▶	17:00 ▶	18:00
冬時間(10~3月)	9:30 ▶	16:30 ▶	17:30

※ワンダーミュージアムの閉館時間は、閉園時間の30分前です。
※一部の動物は閉園時間前に収容するため、見られない場合があります。なお、収容時間を公式ホームページにてご案内しています。

休園日

毎週火曜日、年末年始(12/30~1/1)

※火曜日が祝日の場合は営業、翌平日に休園となります。
※春・夏・冬休み期間中は、火曜日も営業します。

アクセス

- 車**
 - 那覇空港から一般道で約50分
 - 沖縄自動車道で、那覇I.C.から約20分の沖縄南I.C.で降りて約10分
- バス**
 - 那覇バスターミナルから中の町バス停まで約1時間(系統番号23・27・31番等)、中の町バス停から徒歩約15分



ご利用案内

入場料	一般		団体	ワンダーミュージアム 入館料
	大人	中学生・高校生	4歳~小学生	
大人	¥500	¥400	¥200	¥200
中学生・高校生	¥200	¥150	¥100	¥100
4歳~小学生	¥100	¥80	¥100	¥100

※団体料金は、有料のお客様20名以上から適用されます。(事前の団体予約が必要です。)
※3歳以下は無料です。
※ワンダーミュージアムをご利用の際は、入場料の他に別途入館料が必要となります。

年間パスポート

大人(1枚)	¥2,000
4歳~高校生(1枚)	¥1,000

※登録者ご本人のみご利用いただけます。
※有効期間は発行日より1年間です。

公益財団法人 沖縄こどもの国

〒904-0021 沖縄県沖縄市胡屋5-7-1
tel: 098-933-4190
fax: 098-932-1634
mail: info@okzm.jp



公式ホームページ

沖縄こどもの国 検索

動物取扱業の種類: 沖動展第322号・沖動販第322号・沖動貸第322号・沖動保第322号

オリオオコウモリ

分類 翼手目オオコウモリ科

分布 沖縄島とその周辺の離島

沖縄の方言 かーぶやー・えーまかーぶやー
沖縄でコウモリといえば、翼を広げたら1m近くにもなるオオコウモリのことをいいます。

レッドリスト (IUCN: 準絶滅危惧 (NT))

※クビワオオコウモリとして掲載、沖縄県版 絶滅危惧

特集

動物園の調査・研究

新種が見つかった!?

公式Facebook
@okinawakodomonokuni

公式Twitter
@OkinawaZoo

公式Instagram
@okinawakodomonokuni

公式LINE

公式YouTubeチャンネル
YouTube

こちらチェック!
公式オンラインショップ

沖縄こどもの国オンラインサポーター
ゆんたくコミュニティ



ハイサイ!

—沖繩こどもの国だより—

創刊のごあいさつ

園長 神里興弘



沖縄こどもの国は、我が国の最南端に位置する亜熱帯の動物園として、多様な動物の飼育展示や教育普及、人材育成などに取り組み、こども達の情操教育や地域活性化に努めています。

開園 50 周年を経過した今日では、日本一ユニークな動物園を目指したりリニューアル整備を進めています。一部を紹介しますと、サバンナをイメージした斬新な新ライオン舎では九州地区で唯一の展示となるの雌雄のホワイトライオンを観察することが出来ます。また、ヤクシマザル舎は中に入りダイナミックなサル動きを身近で観察することの出来るとともに、星空照明は圧巻です。里山の迷宮エリアでは、沖縄では出会うことができない、絵本でもおなじみの日本の里山に生息する動物達を飼育展示しています。この度、主に熱帯に生息する動物達の複合展示施設として新ワニエリアがオープンし、国内では飼育数が少ないオオアリクイやジャガー、爬虫類が触れるくらいの近さで観察でき、なかでも頭上を泳ぐワニの姿は他の施設ではなかなか見ることが出来ないものと思います。

さらに、施設の整備に合わせた新しい動物の導入やこども達が驚きと感動を感じるワンダーミュージアムの展示の更新をはじめ、園内の4カ所にベビーケアルームの授乳室を整備するなど、将来にわたり夢と希望の持てる園整備に取り組んでいます。



世界中で脅威となっている新型コロナウイルス感染症の問題が、3年目に突入した現時点においても収束することなく依然として社会経済活動に大きな影響を与え続けています。沖縄こどもの国では、コロナ禍で臨時休園や入園者が減少する中で、ダイナミックに変化していく様々な状況下での情報発信の重要性を痛感、新たな取り組みとしてSNS等を活用した情報発信の強化に努めてきました。

この度は、その一環として動物に関する様々なワクワクする出来事や家族で楽しめるイベントなどの園の情報を、職員一丸となって定期的に発信して参りますので、期待とともに、今後のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

～沖縄こどもの国情報誌「ハイサイ!—沖繩こどもの国だより—」はじめるよ～

(園長 神里興弘)



NEWS

4月29日に 新エリアが OPEN しました!



2022年4月29日、沖縄こどもの国では、各種ワニ・ジャガー・オオアリクイに加え、コツメカワウソやその他の様々な爬虫類（トカゲ、ヘビ、カメ）など熱帯にくらす多くの動物が観覧できる複合展示施設を新しくオープンしました。

新しい施設では、来園者通路や空中デッキと入り組んだ形で動物の放飼場が配置されており、上下左右さまざまな視点で動物たちを観覧することができます。天井水槽や空中デッキから見る多種のワニ、園路をまたぐケージを行き来するジャガー、間近で見られるオオアリクイ、沖縄こどもの国で初展示となるコツメカワウソなど多くの見どころを備えた展示空間となっています。

水辺に潜むワニ、ジャングルの樹上から獲物を狙うジャガー、草原に行くオオアリクイ、岩陰に潜むヘビやトカゲなど、多様な動物達を一同に体感できる空間を演出するため、“秘境の奥深くにある神秘的な遺跡”をコンセプトに、外壁にはワニやヘビをモチーフにした造形が施されています。

ユニークな外観を備えた新しい展示施設を楽しんでいただければと思います。

また、沖縄こどもの国は、日本で最も熱帯に近い地域環境を活かし、暖かい地域の多様な動物を自然に近い形で飼育することに取り組んでいます。熱帯は、地球上の様々な地域の中でも特に生物多様性に富む地域で、陸域にくらす生物の約半数が熱帯林に生息しているといわれています。

しかし、森林開発など様々な理由でその生息環境は急速に失われつつあります。

現在、生物絶滅のスピードは年々加速し、1日に約100種の生物が絶滅しているともいわれ、非常に危機的な状況にあります。

本施設では、熱帯性の湿潤な地域に住む肉食～雑食の動物を中心に、様々な生息環境にくらし、その環境に合わせた特性を持つ動物たちを展示します。

持続可能な開発目標であるSDGsの実現に向けて、

生物多様性の保全是極めて重要であり、

新施設ではそれらを実感することで、その生物たちがくらす環境の現状を学び、自分に何ができるのか考えるきっかけとしていただきたいと思います。

大人気展示!
3Mものシャムワニを下から観察できます!



開園前にワニを下から堪能する飼育員

動物園での研究って何しているの？

動物園では数多くの動物たちを飼育し、展示しています。動物たちを心身ともに健康に飼育するために、動物たちのことを深く知らなければいけません。

では、まだわかっていない動物のことはどうしたらいいのでしょうか？新たに動物のことを知るためには「研究」が必要になってきます。

動物たちのことを深く知る、また研究するためには、すでにわかっていること、まだ何がわかっていないのかを知る必要があります。動物のことを学ぶためには、生態学、栄養学、繁殖学など様々な分野があります。

動物の一生のすべてについて解明することはとても大変なことなので、まだまだ解明されていないこともたくさんあります。動物園で調査・研究をして野生動物の保全に役立てることもできます。しかし、野生動物の場合、野生下では動物自体を観察することさえ困難な場合もあります。でも動物園では動物の様々なくらしぶりをくわしく観察することができます。動物園で働く人々が研究することはもちろんのこと、大学や博物館等の外部の研究機関と連携して、まだ解明されていない動物のことについて研究を行うこともあります。



①何を食べてどんな場所でくらしているの？



②エサの栄養や消化はどうなっているの？



③どうやって赤ちゃんを産むの？

動物たちが健康に暮らす方法を勉強することはもちろん一番大切なことですが、それ以外にもまだまだ知らなければいけないことがあります。動物園は、動物について楽しみながら学んでもらう場です。動物について伝える方法を学ぶには、教育学や展示学などの分野もあります。



④どうしたら動物のこと、もっと来園者に興味を持ってもらえるの？

⑤動物のことがよく伝わる展示ってどんなの？

参考文献
日本動物園水族館協会(2020) 改定版新・飼育ハンドブック 動物園編第4集, 日本動物園水族館協会
村田浩一・成島悦雄・原久美子編(2014) 動物園学入門, 朝倉書店

みなさんは動物園に対してどんなイメージをお持ちでしょうか？多くの方は動物園は「遊びに行く場所」というイメージが強いかもしれませんが、実は、動物園は研究機関でもあるのです。

日本動物園水族館協会(JAZA)は、動物園には「①種の保存 ②教育 ③調査・研究 ④レクリエーション」という4つの役割があるとしており、「研究」も重要な役割のひとつとなります。

地域との連携から生まれた新発見

動物園や水族館は誰もが気軽に立ち寄ることができる施設であり、動物や自然に興味を持った子ども達がたくさん訪れてくれます。沖縄こどもの国では、飼育している動物たちへ興味・関心を抱いてもらうだけでなく、身近な地域の自然に興味を持ってもらうための取り組みを行っています。そのうちのひとつが「いきもの調査隊」ボランティア活動です。いきもの調査隊では、子ども達とともに身近な自然に関する生物に関する基礎的な情報を継続的に収集しています。今回は、いきもの調査隊の活動の中で、驚きの新発見があったのでご報告いたします。

沖縄こどもの国ボランティア活動—いきもの調査隊

琉球列島の身近な自然について、そこに住む人々もまだ知らないことがたくさんあります。身近な自然として沖縄島北部のやんばるが取り上げられることは多いですが、中南部の自然についてはあまり知られていません。そこで、様々な野生動物が生息している沖縄こどもの国園内において、自然環境に対する興味関心を育み、それらについて一般来園者に伝えるボランティアを育成することを目的に、「沖縄こどもの国いきもの調査隊」を実施しています。

「沖縄こどもの国いきもの調査隊」は、活動期間を1年とし、小学校4年生以上を対象として年一回の募集を行っています。月一回の活動日には、午前中に講師とともに沖縄こどもの国の敷地内に生息している動植物の観察と採集、午後は採集したものの種を同定し、図鑑を作成しています。採集した昆虫は博物館にて月に数回標本を作製しています。毎月の観察結果と参加者が作成した図鑑を園内に展示し、成果展という形で来園者にいきものに関する知識や面白さを伝えてきました。

これまで約5年間の活動により、沖縄こどもの国に生息している植物500余種、昆虫500余種、哺乳類6種、爬虫類10種、両生類6種が記録されています。動物園で飼育されている動物だけでなく、来園者は足元にある自然に目に向けるよう、そして身の回りにある自然環境に関心を持ってもらえるように、自然の豊かさ、面白さ、大事さを伝えていきます。

地域の博物館とナチュラリストと連携

沖縄こどもの国周辺は、住宅地に囲まれた都市部でありながら、森林や水辺が保存されており、多くの人が訪れる、まさに身近な自然観察にうってつけの場所です。現在、このような場所は、「OECM (Other Effective area based Conservation Measure)」という自然共生エリアとして国際的に登録しているという流れもあり、自然保護の観点からも注目されています。いきもの調査隊では、沖縄こどもの国を活動の場とし、ボランティア運営のノウハウを活かしながら、専門的な部分を地域の博物館とナチュラリストがフォローアップすることで高い専門性を維持しています。

街中の動物園で、なんと新種の昆虫が見つかった!?

新種「ホシガタハラボソコマユバチ」発見

2019年、いきもの調査隊の活動中に奇妙な星型の繭を発見しました。今までにもこの繭を見た記憶はありましたが、特に気にしていませんでした。気になりだしたら、目に入ってきます。その後もいくつか星型の繭を発見することができました。時を同じくして、ガ大好きスタッフが様々なガの幼虫を育てていました。タイミング良くといえますか、その幼虫の1つ「ホウジャク」が寄生されていました。ある日、寄生されたそのガの幼虫から、黄色がかった白いクリーム色の幼虫がわらわら出てきました。その様子を見守っていると、最近見たあの形に近づいていくではありませんか!!なんと、最終的にその幼虫たちは調査隊の活動中に発見したあの奇妙な繭になったのです。

このように不思議な偶然が重なって、星型の繭の発見だけではなく寄生される幼虫が何かを発見するまでに至りました。

でも、実は発見するより大変なことがあります。それは「新種である」ということを証明するということ。この星型の繭は、その後、コマユバチの研究者である大阪市立自然史博物館外来研究員の藤江隼平氏を中心とした、神戸大学、沖縄市立郷土博物館、九州大学の研究チームによって、2021年10月に新種として証明されました。

あなたの身近な所にくらす生き物からもびっくりするような新発見することができるかもしれません。

参考文献：Journal of Hymenoptera Research(2021) 86: 19-45



新種「ホシガタハラボソコマユバチ」発見した時の映像はこちら→



身の回りの自然に目をむけて

『沖縄の自然は大切だ。』これは、沖縄に住む人々のほとんどに共通した自然に対する意識の一つです。ヤンバルクイナやノグチゲラといったここにしかない貴重な動植物、島の命を育む青い海、やんばるや西表島の豊かな森・・・沖縄の自然のなんとなくのイメージを言葉にすることはできますが、一歩踏み込んで生き物の観察をしたり、森の中を探検したり、自然の実際の姿をとらえられる人は案外多くはないのではないでしょうか。

沖縄県民の約80%が暮らす沖縄島の中南部は、こどもの国周辺の地域もふくめ、都市化が進んでいます。身近に自然豊かな環境は残っておらず、多くの人が自然との関わりを持つ機会は日常生活の中でほぼ失われてしまっています。このような状況の中で、“ありがたい沖縄の自然のお話”をしてもそれは他人事で、我々の実体験にはなりません。実際、沖縄県民で野生のヤンバルクイナを見たことがある人はほとんどいないでしょう。

沖縄こどもの国いきもの調査隊の活動は、そんな状況を変えていくきっかけの一つと位置付けています。こどもの国の周りで見つかる生き物は、よくよく観察してみれば、毎日の通勤・通学路でも目にする生き物だったりするわけです。年間を通じて活動していくと、毎日出会う生き物のことが少しずつ分かるようになり、生き物から季節の移り変わりを感じることもあるかもしれません。これこそが、自然と自分の関係性が新しく生まれていくことであり、自然と親しみ、いつくしむことの根源となるでしょう。

そのような日常の自然は、沖縄の貴重な自然という目で見たとときに価値はないのでしょうか?この問いに答える一つの象徴的な出来事が、新種の昆虫の発見であったと思います。生物多様性のホットスポットである沖縄の自然の中には、たとえそれが家のわきの小さな藪であっても、驚くべきまだ見ぬ発見が待っています。身近でまだ謎の多い沖縄の自然と一緒に親しみましょう。

沖縄市立郷土博物館にも遊びに行ってみよう!



沖縄市立郷土博物館
学芸員 刀禰浩一 氏

うちなー生き物通信



アカショウビン

分類 フツボウソウ目カワセミ科

沖縄の方言名 ごっかる・ごっからま・こかるー・くかるーなど

夏になると

(写真撮影：高良)

日本では、夏になると、東南アジアや東アジアなど南の方からアカショウビンが渡ってきます。

赤い色をしたカワセミの仲間、森林や平地の茂った林などに生息し、沖縄こどもの国園内でも野生個体を観察することができます。野外での識別はとても難しいといわれていますが、アカショウビンには「アカショウビン」と紫色味が強い「リュウキュウアカショウビン」の2つの亜種があり、沖縄ではどちらの亜種も観察することができます。ただし、琉球弧で繁殖するものはリュウキュウアカショウビンのみのようです。

木々の中から『キョロロロロ...』とアカショウビンの涼しげな声が聞こえてくると、ああ今年も夏がやって来たなと感じます。同じアカショウビンの鳴き声でも、よく耳を澄ませてみると、少しずつ違いがあります。声変わりの途中の若鳥の掠れた声や、『キョロロツ』と短く切れてしまう声、どことなく濁った声、反対にとても澄んだ美しい鳴き声など。

『この声の主は若鳥っぽいな』『あまり上手くないな』『この声の主はモテそうだ』と、色々と想像しながら聞き比べてみるのもなかなか面白いものです。



(飼育員 高良奏美)

ワンダーミュージアム展示紹介

スリットアニメーション & ぐるぐるスコープ



ワンダーミュージアム1階にある「スリットアニメーション」と「ぐるぐるスコープ」は、その名の通りアニメーションの仕組みを体験することのできる展示です。スリットアニメーションは一枚のイラストの上に乘せたシマシマ模様パネルを左右にスライドさせてみると絵が動いて見えます。ぐるぐるスコープは12個のイラストが描かれた丸い板をくるくる回しながら、隙間から中を覗いてみます。するとこれもまた絵が動いて見えます。

どちらも自分で動かすことで現象が起きるので、動かすスピードを変えてみたり、向きを変えてみたり、見る角度を変えてみたりして実験のように何度でも試すことができます。なぜ、動かないはずのイラストが動いて見えるのでしょうか？なぜ？どうして？そう考えると、いろいろなことを試したくなってくるはず。どんなふうに見えるのかは、ぜひご自身の目で確かめてみてくださいね。

(ワンダーミュージアム担当：宮城孝子)

沖縄こどもの国オリジナルグッズはこうやって作っています。

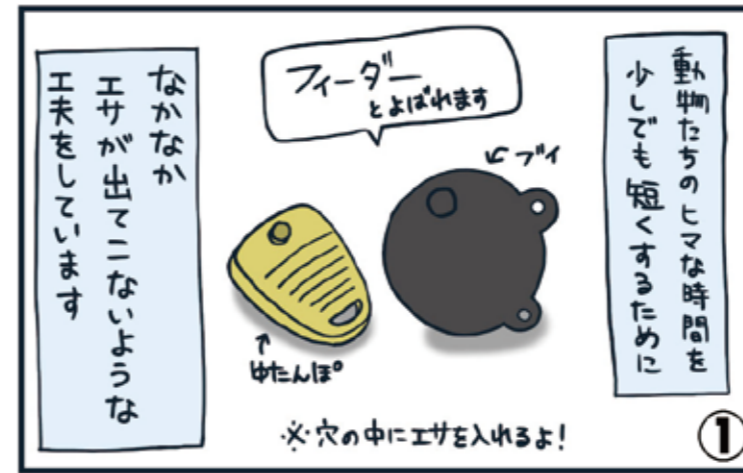
飼育員が描いた！オリジナルタオル



沖縄こどもの国売店&オンラインショップにて絶賛発売中！

タオルのイラストを描くにあたって楽しかったことは、色々な動物をじっくり観察できたこと！自分の担当以外の動物を細かいところまで観察するいい機会になりました。また、元々絵を描く事は好きだったのですが、動物を描いたことがあまり無かったので、難しくも新鮮で楽しかったです。逆に大変だったことは、絵のリアルさの調節でした。どのくらいデフォルメして描けば可愛いかな？でもデフォルメしすぎて動物の特徴が分かりづらいのは少し嫌だな、等考えて描いていました。また、写真や展示場越しでは分かりづらくて描きにくい部分は、担当の方に直接触れ合いながら観察させて貰ったりしました。解説してもらいながらの観察だったので、勉強になりましたし、身近で見られて嬉しかったです。一番嬉しかったのは、やっぱり完成したタオルを見たときです！自分一人じゃ完成しない物なので、完成品を見たときは感慨深かったです。

(飼育員：秋吉紗彩)



マレーグマのフィーダー

動物4コママンガ
ハイサイ
飼育員



動物園で暮らす動物たちのくらしがもっと良くなるように、エサのあげ方ひとつとっても様々なものがあります。動物1種1種、個体ごと、また年齢によって、飼育員はいろいろな工夫をしています。マレーグマにはフィーダーでのエサあげに加えて、野生のマレーグマが常に行う「エサを探す」行動を引き出すために、細かく切ったエサを放飼場にバラまいたりもしています。沖縄こどもの国にお越しの際は、ぜひ15時のくわっちタイムをご覧ください。

(マレーグマ担当飼育員：安座間健也)

沖縄こどもの国 DIARY

イベント・ガイド

- 4月 島ヤギの「ゼットン」繁殖のために沖縄県立辺士名高校に移動
- 4/3 いきものガイド「琉球のいきものーあなたの知らない同居人」
- 4/9 KIFUZOO ライブ配信「マレーグマコラボ vol.1」
- 4/10～4/17 419（飼育）の日イベント
- 4/10 動物4月合同バースデー
- 4/17 いきものガイド「日本・世界のいきものーサルサルサル、サルってなあに？」
- 4/27 手作りコイのぼり掲揚式
- 4/29 ゆんたくコミュニティライブ配信「マレーグマのマーズお誕生日配信」
- 4/29～5/1・5/2～5/6 沖縄こどもの国フェスティバル 2022
- 5月 沖縄こどもの国公式 LINE アカウント開設
- 5/1 いきものガイド「琉球のいきものーちんなんおーらせー」
- 5/15 いきものガイド「日本・世界のいきものーモルモットについて知ろう」
- 5/15 動物5月合同バースデー
- 6/5 いきものガイド「琉球のいきものー愛を叫ぼう」
- 6/12 動物6月合同バースデー
- 6/12 ゆんたくコミュニティライブ配信「新エリアの見所紹介します！ーワニの移動どうしたの？ー」
- 6/19 いきものガイド「日本・世界のいきものーなぜ！マレーグマが絶滅の危機？」



ワークショップ

- 4月
 - ・4月のテーマ「ひげ」どうぶつ探偵アニマルン ～どうぶつ図鑑を作ろう～
 - ・せせらぎゾーンであそぼっ♪～むし×ムシ×ビンゴ～
- 5月
 - ・5月のテーマ「鳥の足」どうぶつ探偵アニマルン ～どうぶつ図鑑を作ろう～
 - ・せせらぎゾーンであそぼっ♪～葉っぱレンジャー『お宝葉っぱをさがせ』
 - ・ピカピカ！トントンメダルづくり
- 6月
 - ・6月のテーマ「ワニの口」どうぶつ探偵アニマルン ～どうぶつ図鑑を作ろう～
 - ・せせらぎゾーンであそぼっ♪～昆虫をつかまえてみよう

企画展

- 3/26～6/26 令和3年度いきもの調査隊活動成果展「小さな先生たち」
- 5/1～5/30 愛鳥週間パネル展
- 6/8～6/27 未来を考える絵本たち



動物編

新しく仲間が増えました！



4/7 コツメカワウソのシンバ（♂）とブンタ（♂）



4/15 ニホンツキノワグマの美春（♀）



4/23 チャーン3羽（♂2, ♀1）

産まれました！



4月初旬 ニホンリスのアコウ（♂）



5月29日 ヤクシマザルのひまわり（♀）

（移動しました）
新しい動物園でも元気でね。



6/23 オオカンガルーの生一（♂）
→阿蘇カドリー・ドミニオンへ

今までありがとう。（死亡しました）

5/12 島ヤギのセイコ（♀）



5/13 オオカンガルーのライチ（♂）

